

令和3年度吉川市下水道事業会計決算概要

1 業務量

区 分	R3年度	R2年度	比較	
			増減	増減率
水洗化世帯数	25,184 世帯	24,789 世帯	395 世帯	1.6%
年間総排水量	6,577,531 m ³	6,498,385 m ³	79,146 m ³	1.2%
1日平均排水量	18,021 m ³	17,804 m ³	217 m ³	1.2%

主な建設改良事業

(単位：円)

区 分	R3年度	R2年度	比較	
			増減	増減率
管渠事業	386,599,732	350,174,348	36,425,384	10.4%
ポンプ場事業	143,734,174	60,264,839	83,469,335	138.5%

令和3年度の業務量は、

- (1) 水洗化世帯数は、25,184世帯で、前年度に比べ395世帯(1.6%)増加しました。
- (2) 年間総排水量は、6,577,531 m³で、前年度に比べ79,146 m³(1.2%)増加しました。
- (3) 1日平均排水量は、18,021 m³で、前年度に比べ217 m³(1.2%)増加しました。
- (4) 主な建設改良事業につきましては、管渠事業3億8659万9732円となり、前年度に比べ3642万5384円(10.4%)増額となりました。
また、ポンプ場事業は1億4373万4174円となり、前年度に比べ8346万9335円(138.5%)増額となりました。

2 収益的収入及び支出

(1) 収益的収入

(単位：円)

	R 3 年度	R 2 年度	対前年比較	
			金額	比率(%)
1 営業収益	897,020,939	871,500,982	25,519,957	2.9
下水道使用料	715,135,674	688,689,287	26,446,387	3.8
雨水処理負担金	181,194,000	181,428,000	△ 234,000	△ 0.1
受託事業収益	566,915	535,555	31,360	5.9
その他営業収益	124,350	848,140	△ 723,790	△ 85.3
2 営業外収益	627,179,280	625,984,935	1,194,345	0.2
受取利息	1,435	1,759	△ 324	△ 18.4
他会計負担金	17,401,000	19,612,000	△ 2,211,000	△ 11.3
長期前受金戻入	608,700,474	606,293,050	2,407,424	0.4
消費税及び地方消費税還付金	1,040,345	0	1,040,345	皆増
雑収益	36,026	78,126	△ 42,100	△ 53.9
3 特別利益	118,605	26,213	92,392	352.5
過年度損益修正益	94,413	26,213	68,200	260.2
その他特別利益	24,192	0	24,192	皆増
事業収益 計	1,524,318,824	1,497,512,130	26,806,694	1.8

下水道事業収益は、15億2431万8824円となり、前年度に比べ2680万694円（1.8%）増額となりました。

営業収益 ・ ・ 前年度に比べ2551万9957円（2.9%）増額

【下水道使用料】

下水道使用料は、7億1513万5674円となり、前年度に比べ2644万6387円（3.8%）の増額となりました。令和3年6月にオープンした商業施設のほか、接続世帯数の増により、水道使用量が増加したため、前年度に比べて増額したものとされます。

【雨水処理負担金】

雨水処理負担金は、雨水処理に要する経費について一般会計が負担するもので、1億8119万4000円となり、前年度に比べ23万4000円（△0.1%）減額となりました。

【受託事業収益】

受託事業費負担金は、松伏町と共同で管理している東埼玉テクノポリス調整池の経費について松伏町が負担する分及び高久ポンプ場に接続されている県の水門の点検の経費について県が負担するもので、56万6915円となり、前年度と比べ3万1360円（5.9%）増額となりました。

【その他営業収益】

その他営業収益は、12万4350円となり、前年度に比べて72万3790円（△85.3%）の減額となっております。令和2年度は3年に1度の排水設備指定工事店の登録年で、手数料が多かったため減額幅が大きくなりました。

営業外収益 ・・前年度に比べて119万4345円（0.2%）増額

営業外収益は、6億2717万9280円となり、前年度に比べ119万4345円（0.2%）増額となりました。主なものは、長期前受金戻入が6億870万474円で、前年度と比べて、240万7424円（0.4%）の増額となりました。

特別利益 ・・前年度に比べて9万2392円（352.5%）増額

特別利益は、11万8605円となり、前年度に比べて9万2392円（352.5%）増額となりました。主なものは、下水道使用料の調定増による過年度損益修正益が9万4413円で、前年度と比べて6万8200円（260.2%）の増額となりました。

(2) 収益的支出

(単位：円)

項目	R3年度	R2年度	対前年比較	
			金額	比率(%)
1 営業費用	1,275,410,443	1,266,490,322	8,920,121	0.7
管渠費	21,595,426	18,571,835	3,023,591	16.3
ポンプ場費	60,160,051	53,853,177	6,306,874	11.7
流域下水道費	265,036,404	261,801,443	3,234,961	1.2
受託事業費	451,133	331,924	119,209	35.9
業務費	48,342,111	49,806,488	△1,464,377	△2.9
総係費	35,999,305	48,297,563	△12,298,258	△25.5
減価償却費	841,594,561	833,340,525	8,254,036	1.0
資産減耗費	2,231,452	487,367	1,744,085	357.9
2 営業外費用	73,030,753	94,977,558	△21,946,805	△23.1
支払利息及び企業債取扱諸費	73,030,753	81,940,258	△8,909,505	△10.9
消費税及び地方消費税	0	13,037,300	△13,037,300	皆減
3 特別損失	14,658,939	3,124,883	11,534,056	369.1
過年度損益修正損	14,658,939	3,124,883	11,534,056	369.1
事業費用 計	1,363,100,135	1,364,592,763	△1,492,628	△0.1

下水道事業費用は、13億6310万135円となり、前年度に比べ149万2628円（△0.1%）減額となりました。

営業費用

・前年度に比べ892万121円（0.7%）増額

【管渠費】

管渠費は、2159万5426円となり、前年度に比べて302万3591円（16.3%）の増額となりました。主なものとして、雨水幹線の除草等、雨水管渠施設の維持管理に係る委託料が924万5500円となっております。

【ポンプ場費】

ポンプ場費は、6016万51円となり、前年度に比べて630万6874円（11.7%）の増額となっております。主なものとして、ポンプ場の施設管理に係る委託料が3967万2574円となっております。

【流域下水道費】

流域下水道費は、2億6503万6404円となり、前年度に比べて323万4961円（1.2%）の増額となっております。そのうち、汚水処理のための県への負担金が2億6310万1240円となっております。

【受託事業費】

受託事業費は、45万1133円となり、前年度に比べて11万9209円（35.9%）の増額となっております。松伏町と共同で管理している東埼玉テクノポリス調整池の維持管理の経費です。

【業務費】

業務費は、4834万2111円となり、前年度に比べて146万4377円（△2.9%）の減額となっております。主なものとしては、吉川市水道事業へ委託している下水道使用料徴収委託料が4405万1700円となっております。

【総係費】

総係費は、3599万9305円となり、前年度に比べて1229万8258円（△25.5%）の減額となっております。主なものとして、庁舎、公用車及びOA機器などの下水道事業使用分として一般会計に対する負担金が615万3001円となっております。

【減価償却費】

減価償却費は、8億4159万4561円となり、前年度に比べて825万4036円（1.0%）の増額となっております。

【資産減耗費】

資産減耗費は、223万1452円となっており、前年度に比べ174万4085円（357.9%）の増額となっております。

営業外費用・・・前年度に比べ2194万6805円(△23.1%)減額

営業外費用は、7303万753円となり、前年度に比べ2194万6805円(△23.1%)の減額となっています。内訳は、全額が企業債等支払利息となっております。

特別損失・・・前年度に比べ1153万4056円(369.1%)増額

特別損失は、1465万8939円となり、前年度と比べて1153万4056円(369.1%)の増額となりました。内訳は令和2年度下水道使用料調定減額分として、1万8381円、令和2年度一般会計負担金精算分として、1464万558円となっております。

3 資本的収入及び支出

(1) 資本的収入

(単位 円)

	R3年度	R2年度	対前年比較	
			金額	比率(%)
1 企業債	484,000,000	386,800,000	97,200,000	25.1%
建設改良費等に充てるための企業債	282,400,000	195,400,000	87,000,000	44.5%
流域下水道事業債	29,700,000	40,900,000	△11,200,000	△27.4%
資本費平準化債	171,900,000	150,500,000	21,400,000	14.2%
2 他会計出資金	81,325,000	86,053,000	△4,728,000	△5.5%
一般会計出資金	81,325,000	86,053,000	△4,728,000	△5.5%
3 国庫補助金	210,794,000	169,951,000	40,843,000	24.0%
国庫補助金	210,794,000	169,951,000	40,843,000	24.0%
4 負担金	14,387,000	14,769,000	△382,000	△2.6%
一般会計負担金	14,387,000	14,769,000	△382,000	△2.6%
5 その他資本的収入	4,085	0	4,085	皆増
その他資本的収入	4,085	0	4,085	皆増
資本的収入計	790,510,085	657,573,000	132,937,085	20.2%

資本的収入は、7億9051万85円で、前年度に比べ1億3293万7085円(20.2%)の増額となっております。

企業債・・・前年度に比べ9720万円(25.1%)増額

企業債は4億8400万円で、前年度と比べて9720万円(25.1%)の増額となっております。

他会計出資金・・・前年度に比べ472万8000円(△5.5%)減額

他会計出資金は、8132万5000円で、前年度に比べ472万8000円（△5.5%）の減額となっております。これは、総務省の基準により一般会計で負担すべき企業債償還金分です。

国庫補助金 ・ ・ 前年度に比べ4084万3000円（24.0%）増額

国庫補助金は、2億1079万4000円で、前年度と比べて4084万3000円（24.0%）の増額となっております。内訳は、吉川美南駅東口における污水管布設工事において9716万6000円、雨水管布設工事において7465万4000円及び雨水ポンプ場電気設備工事に3897万4000円をそれぞれ充当しております。

負担金 ・ ・ 前年度に比べ38万2000円（△2.6%）減額

負担金は、1438万7000円となり、前年度に比べて38万2000円（△2.6%）の減額となっております。内容といたしましては、資本的支出に係る人件費を一般会計が負担するものです。

その他資本的収入 ・ ・ 前年度に比べて4085円（皆増）増額

その他資本的収入は、4085円となり、前年度にはなかったもので、皆増となります。これは、令和2年度資本的支出における地方公務員災害補償基金負担金の還付を令和3年度において受けたものです。

(2) 資本的支出

(単位:円)

	R3年度	R2年度	対前年比較	
			金額	比率(%)
1 建設改良費	584,666,060	476,727,835	107,938,225	22.6
管渠費	386,599,732	350,174,348	36,425,384	10.4
ポンプ場費	143,734,174	60,264,839	83,469,335	138.5
流域下水道費	29,775,149	41,045,628	△ 11,270,479	△ 27.5
業務費	24,557,005	25,243,020	△ 686,015	△ 2.7
2 企業債償還金	434,598,384	431,725,836	2,872,548	0.7
建設改良費等の財源に充てるための企業債償還金	358,030,449	361,990,561	△ 3,960,112	△ 1.1
流域下水道事業債償還金	54,729,311	55,217,358	△ 488,047	△ 0.9
資本費平準化債償還金	21,838,624	14,517,917	7,320,707	50.4
3 固定資産購入費	164,739	6,600,000	△ 6,435,261	△ 97.5
固定資産購入費	164,739	6,600,000	△ 6,435,261	△ 97.5
資本的支出計	1,019,429,183	915,053,671	104,375,512	11.4

資本的支出は、10億1942万9183円で、前年度に比べ1億437万5512円（11.4%）の増額となっております。

建設改良費

・前年度に比べ1億793万8225円(22.6%)の増額

建設改良費は、5億8466万6060円となり、前年度に比べ、1億793万8225円(22.6%)の増額となっております。

【管渠費】

管渠費は3億8659万9732円となり、前年度と比べて3642万5384円(10.4%)の増額となっております。主なものといたしましては、吉川美南駅東口周辺地区における污水管布設工事2億977万円、同地区内の雨水管布設工事が1億5061万3000円となっております。

【ポンプ場費】

ポンプ場は1億4373万4174円となり、前年度と比べて8346万9335円(138.5%)の増額となっております。主なものといたしましては、共保・高久雨水ポンプ場電気設備工事が3894万円、高久雨水ポンプ場電気設備工事が5786万円となっております。

【流域下水道費】

流域下水道費は、2977万5149円となり、前年度と比べて1127万479円(△27.5%)の減額となっております。内容といたしましては、埼玉県流域下水道施設建設に対する負担金となっております。

【業務費】

業務費は2455万7005円となり、前年度と比べて68万6015円(△2.7%)の減額となっております。内容といたしましては、取付管や公共ます等の污水排水設備工事費となっております。

企業債償還金

・前年度に比べ287万2548円(0.7%)増額

企業債償還金は、4億3459万8384円となり、前年度に比べ287万2548円(0.7%)の増額となっております。

固定資産購入費

・前年度に比べて643万5261円(△97.5%)減額

固定資産購入費は、16万4739円となり、前年度に比べて643万5261円(△97.5%)の減額となっております。主な内容としては、高圧洗浄機購入費12万1473円となっております。

【補填財源】・・・前年度と比べ2856万1573円(△11.1%)減少

資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額は2億2891万9098円となり、前年度に比べ2856万1573円(△11.1%)減少しています。

この不足額については、下記の資金で補填します。

	金額	説明
当年度分消費税資本的 収支調整額	35,834,351 円	資本的支出のうち、課税支出に属する仮 払い消費税の額
減債積立金	112,921,753 円	前年度末までに利益剰余金から企業債 償還のために積み立てた積立金
過年度分損益勘定留保 資金	80,162,994 円	前年度までの減価償却費から長期前受 金戻入を差し引いた額

4 主な事業

(1) 清潔で快適な生活環境の確保

★ 水洗化率の向上

公共下水道処理区域内の未接続建物所有者に対し、接続していただくため、通知による接続依頼のほか、広報誌への記事の掲載をしました。

(2) 効率的な施設整備

★ 管渠建設改良事業

○ 吉川美南駅東口周辺地区土地区画整理事業に伴う管渠布設工事

- ・ 汚水管布設工事費：L=561.5m 2億977万円
- ・ 雨水管布設工事費：L=229.1m 1億5061万3000円

★ ポンプ場設備更新事業

ポンプ場の設備の老朽化に伴い、実施した主な事業は下記のとおりです。

- ・ 共保・高久雨水ポンプ場電気設備工事 3894万円
- ・ 高久雨水ポンプ場電気設備工事 5786万円

★ 設備の適正な維持管理

設備を適正に維持するとともに長寿命化を図るため、設備の維持水準や優先度を考慮し、修繕等により設備の適正な維持管理を実施しました。

- ・ マンホール周辺舗装補修及び鉄蓋交換工事 950万9500円
- ・ 管渠内清掃業務委託等 274万7800円
- ・ 管渠内調査業務委託 253万円

(3) 効率的な経営

厳しい経営環境のもと、信頼される下水道をめざすためには、安定した経営基盤の構築が不可欠であり、効率的な事業運営の推進に努めます。

★ 事務の効率化

○ 下水道台帳の電子化を行い事務の効率化を図り、毎年度データの更新を行いました。

- ・ 下水道台帳整備委託料 360万300円
- ・ 資産管理台帳システム保守業務委託料 74万2500円

5 下水道事業経営指標

項目	分析結果		指標説明
	R 3 年度	R 2 年度	
経常収支比率	110.5%	108.8%	当該年度において、料金収入等で維持管理費や支払利息等の費用をどの程度賄えているかを表す指標。
累積欠損金比率	0.0%	0.0%	営業活動で生じた損失を補てんできず、複数年にわたって累積した欠損金の状況を表す指標。0%であることが求められる。
流動比率	82.0%	56.3%	短期的な債務に対する支払能力を表す指標。
企業債残高 対事業規模比率	674.3%	679.3%	料金収入に対する企業債残高の割合であり、企業債残高の規模を表す指標。
経費回収率	140.6%	134.9%	下水道使用料で回収すべき経費（污水处理費）を、どの程度使用料で賄えているかを表した指標。
污水处理原価	77.5 円	79.1 円	有収水量 1 m ³ あたりの污水处理に要した費用。
污水处理単価比率	140.6%	134.9%	使用料単価と有収水量に基づく污水处理単価とを対比した指標。利益を出すためには 100%以上である必要がある。
水洗化率	96.9%	96.5%	処理区域内人口のうち、実際に下水道を接続して污水处理している人口の割合を表した指標。
有形固定資産 減価償却率	8.6%	5.8%	有形固定資産のうち償却対象資産の減価償却がどの程度進んでいるか表す指標。
管渠老朽化率	0.0%	0.0%	法定耐用年数を超えた管渠延長の割合を表した指標。管渠の老朽化度合いを示している。吉川市においては法定耐用年数を超えた管渠はない。
管渠改善率	0.0%	0.0%	当該年度に更新した管渠延長の割合を表した指標。